

平成25年度
博士課程教育リーディングプログラム プログラムの概要 [採択時公表]

機関名	東京大学	機関番号	12601
1. 全体責任者 (学長)	<small>※ 共同申請のプログラムの場合は、全ての構成大学の学長について記入し、申請を取りまとめる大学(連合大学院によるもの場合は基幹大学)の学長名に下線を引いてください。</small> (ふりがな) 氏名・職名 はまだ じゅんいち 濱田 純一 ・ 東京大学総長		
2. プログラム責任者	(ふりがな) 氏名・職名 いたう たかとし 伊藤 隆敏 ・ 東京大学大学院公共政策学連携研究部・教育部 部長・教授		
3. プログラム コーディネーター	(ふりがな) 氏名・職名 しろやま ひであき 城山 英明 ・ 東京大学大学院公共政策学連携研究部・教育部 副部長・教授		
4. 申請類型	P <オールラウンド型>		
5.	プログラム名称	社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム	
	英語名称	Global Leader Program for Social Design and Management	
	副題	イノベーションのための文理横断的高度博士人材養成	
6. 授与する博士学位分野・名称	「社会構想マネジメントグローバルリーダープログラム修了」を記した博士(公共政策)(学術)(法学)(経済学)(工学)(農学)(医学)(保健学)(情報理工学)(社会情報学)(学際情報学)(生命科学)(科学)		
7. 主要分科	(①) (②) (③) ※ 複合領域型は太枠に主要な分科を記入		
	公共政策、政治学、法学、経済学、計算基盤、情報学フロンティア、機械工学、電気電子工学、土木工学、プロセス・化学工学、総合工学、内科臨床医学、人間医工学、ゲノム科学、社会経済農学、社会医学		
8. 主要細目	(①) (②) (③) ※ オンリーワン型は太枠に主要な細目を記入		
	公共政策、政治学、国際関係論、国際法、公法、社会法、民事法、理論経済学、経済政策、財政・公共経済、計算機システム、情報セキュリティ、図書館情報・人文社会情報学、土木環境システム、土木材料・施工・建設マネジメント、生産工学・加工学、熱工学、知能機械学・機械システム、航空宇宙工学、電力工学・電力変換・電気機器、反応・プロセスシステム、原子力学、エネルギー学、医用システム、ゲノム医科学、経営・経済農学、社会・開発農学、血液内科、疫学・予防医学、衛生学・公衆衛生学		
9. 専攻等名 (主たる専攻等がある場合は下線を引いてください。)	公共政策学教育部公共政策学専攻、法学政治学研究科総合法政専攻、経済学研究科金融システム専攻、現代経済専攻、経済理論専攻、工学系研究科社会基盤学専攻、機械工学専攻、精密工学専攻、航空宇宙工学専攻、電気系工学専攻、システム創成学専攻、化学システム工学専攻、原子力国際専攻、技術経営戦略学専攻、農学生命科学研究科農学国際専攻、農業・資源経済学専攻、新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻、医学系研究科国際保健学専攻、社会医学専攻、情報理工学系研究科電子情報学専攻、学際情報学府学際情報学専攻		
10. 連合大学院又は共同教育課程による申請(構想による申請も含む)の場合、その別 ※ 該当する場合には○を記入			
連合大学院		共同教育課程	
11. 連携先機関名(他の大学等と連携した取組の場合の機関名、研究科専攻等名)			

(機関名:東京大学 申請類型:オールラウンド型 プログラム名称:社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム)

15. プログラム担当者一覧					
氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門学位	役割分担 (平成26年度における役割)
(プログラム責任者) 伊藤 隆敏	イトウ タカシ	62	大学院公共政策学連携研究部・教育部 公共政策学専攻 部長・教授	国際金融・マクロ経済学 Ph. D. (経済学)	プログラム責任者、プログラム企画・運営委員会、国際金融論に関する教育と他分野と連携した研究指導
(プログラムコーディネーター) 城山 英明	シロヤマ ヒデアキ	47	大学院公共政策学連携研究部・教育部 公共政策学専攻 副部長・教授	行政学 法学士	プログラムコーディネーター、プログラム企画・運営委員会、俯瞰コースワーク設計、行政学に関する教育と他分野と連携した研究指導
岩本 康志	イワモト ヤスシ	51	大学院公共政策学連携研究部・教育部 公共政策学専攻 教授	公共経済学 経済学博士	公共政策に関する教育と他分野と連携した研究指導
飯塚 敏晃	イヅカ トシアキ	48	大学院公共政策学連携研究部・教育部 公共政策学専攻 教授	医療経済学・産業組織論 博士(経済学)	プログラム企画・運営委員会、俯瞰コースワーク設計、医療経済学に関する教育と他分野と連携した研究指導
田邊 國昭	タナベ クニアキ	51	大学院公共政策学連携研究部・教育部 公共政策学専攻 教授	行政学 法学士	プログラム企画・運営委員会、産学官アフィリエイト委員会、政策分析・過程に関する教育と他分野と連携した研究指導
森 肇志	モリ タダシ	43	大学院公共政策学連携研究部・教育部 公共政策学専攻 教授	国際法 博士(法学)	俯瞰コースワーク設計、国際組織と法に関する教育と他分野と連携した研究指導
田中 伸男	タナカ ノブオ	63	大学院公共政策学連携研究部・教育部 公共政策学専攻 教授	エネルギー・セキュリティ MBA	国際諮問委員会、エネルギー・セキュリティに関する教育と他分野と連携した研究指導
藤原 帰一	フジハラ ケイチ	56	大学院法学政治学研究科 総合法政専攻 教授	国際政治 法学士	国際政治に関する教育と他分野と連携した研究指導
飯田 敬輔	イイダ ケイスケ	53	大学院法学政治学研究科 総合法政専攻 教授	国際政治経済 Ph. D.	プログラム企画・運営委員会、国際政治経済に関する教育と他分野と連携した研究指導
高原 明生	タカハラ アキオ	54	大学院法学政治学研究科 総合法政専攻 教授	現代中国の政治外交 DPhil	現代中国政治および東アジアの国際関係に関する教育と他分野と連携した研究指導
久保 文明	クボ フミアキ	56	大学院法学政治学研究科 総合法政専攻 教授	アメリカ政治外交史 博士(法学)	アメリカの政治外交および日米関係に関する教育と他分野と連携した研究指導
金井 利之	カイ トシユキ	46	大学院法学政治学研究科 総合法政専攻 教授	行政学・自治体行政学 法学士	自治体に関する教育と他分野と連携した研究指導
谷口 将紀	タニグチ マサキ	42	大学院法学政治学研究科 総合法政専攻 教授	現代日本政治論 博士(法学)	俯瞰コースワーク設計、政治学・現代日本政治論に関する教育と他分野と連携した研究指導
交告 尚史	コウツ ヒサシ	57	大学院法学政治学研究科 総合法政専攻 教授	行政法・環境法 博士(法学)	海洋管理・環境法に関する教育と他分野と連携した研究指導
岩村 正彦	イワムラ マサヒコ	56	大学院法学政治学研究科 法曹養成専攻 教授	社会保障法 法学士	社会保障法に関する教育と他分野と連携した研究指導
中谷 和弘	ナカタニ カズヒロ	52	大学院法学政治学研究科 法曹養成専攻 教授	国際法 法学士	宇宙政策に関する教育と他分野と連携した研究指導
神作 裕之	カンサク ヒロユキ	50	大学院法学政治学研究科 法曹養成専攻 教授	商法 法学士	コーポレート・ガバナンスに関する教育と他分野と連携した研究指導
吉川 洋	ヨシカワ ヒロシ	61	大学院経済学研究科 経済理論専攻 教授	マクロ経済学 Ph. D.	マクロ経済学に関する教育と他分野と連携した研究指導
植田 和男	ウエダ カズオ	61	大学院経済学研究科 金融システム専攻 教授	金融政策 Ph. D.	金融政策に関する教育と他分野と連携した研究指導
福田 慎一	フクダ シンイチ	52	大学院経済学研究科 現代経済専攻 教授	マクロ経済学・金融論 Ph. D.	マクロ経済学・金融論に関する教育と他分野と連携した研究指導
青木 浩介	アキ コウスケ	43	大学院経済学研究科 経済理論専攻 准教授	マクロ経済学 Ph. D.	金融政策に関する教育と他分野と連携した研究指導
渡辺 努	ワタナベ ツトム	53	大学院経済学研究科 経済理論専攻 教授	マクロ経済学・国際金融・企業金融 Ph. D.	マクロ経済政策運営に関する教育と他分野と連携した研究指導
大橋 弘	オハシ ヒロシ	42	大学院経済学研究科 現代経済専攻 教授	産業組織論・競争政策 博士(経済学)	プログラム企画・運営委員会、産業組織論・競争政策に関する教育と他分野と連携した研究指導
中川 淳司	ナカガワ ジュンジ	57	社会科学研究所 比較現代法部門 教授	国際経済法 法学博士	国際経済法に関する教育と他分野と連携した研究指導
樋渡 展洋	ヒワタリ ノブヒロ	57	社会科学研究所 比較現代政治部門 教授	政治経済・国際政治経済 Ph. D.	プログラム企画・運営委員会、政治経済・国際政治経済に関する教育と他分野と連携した研究指導
松村 敏弘	マツムラ トシヒロ	47	社会科学研究所 比較現代経済部門 教授	産業組織・公共経済学 博士(経済学)	エネルギー政策に関する教育と他分野と連携した研究指導

15. プログラム担当者一覧(続き)

氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門学位	役割分担 (平成25年度における役割)
佐藤 仁	サトウ ジン	44	東洋文化研究所 新世代アジア研究部門 准教授	開発援助論・資源論 博士(学術)	プログラム企画・運営委員会、国際開発論と天然資源管理に関する教育と他分野と連携した研究指導
堀井 秀之	ホライ ヒデユキ	55	大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 教授	社会技術論 Ph. D. (土木工学)	社会技術論に関する教育と他分野と連携した研究指導
小澤 一雅	オザワ カズマサ	52	大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 教授	建設マネジメント 博士(土木工学)	建設マネジメントに関する教育と他分野と連携した研究指導
光石 衛	ミツイ マサル	56	大学院工学系研究科 機械工学専攻 教授	医用工学・生産工学 工学博士	プログラム企画・運営委員会、俯瞰コースワーク設計、医用工学、生産工学に関する教育と他分野と連携した研究指導
丸山 茂夫	マルヤマ シゲオ	53	大学院工学系研究科 機械工学専攻 教授	機械工学(分子熱工学) 工学博士	国際諮問委員会、俯瞰コースワーク設計、先端エネルギー分野に関する教育と他分野と連携した研究指導
堤 敦司	ツツミ アツシ	56	生産技術研究所 教授	エネルギープロセス工学 工学博士	エネルギープロセス工学に関する教育と他分野と連携した研究指導
佐久間 一郎	サクマ イロウ	53	大学院工学系研究科 精密工学専攻 教授	医用工学 工学博士	医用工学に関する教育と他分野と連携した研究指導
鈴木 真二	スズキ シンジ	59	大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻 教授	航空工学 工学博士	航空工学に関する教育と他分野と連携した研究指導
中須賀 真一	ナカスガ シンイチ	52	大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻 教授	宇宙工学 超小型人工衛星工学博士	宇宙工学に関する教育と他分野と連携した研究指導
松橋 隆治	マツハシ リュウジ	50	大学院工学系研究科 電気系工学専攻 教授	エネルギーシステム学・環境システム学 工学博士	プログラム企画・運営委員会、産学官アフィリエート委員会、エネルギー・環境システムマネジメント(エネルギーシステム、地球温暖化)に関する教育と他分野と連携した研究指導
古田 一雄	フルタ カズオ	54	大学院工学系研究科 システム創成専攻兼付属レジリエンス工学研究センター 教授	レジリエンス工学 工学博士	レジリエンス工学に関する教育と他分野と連携した研究指導
大久保 達也	オオクボ タツヤ	52	大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 教授	化学工学・プラチナ社会・ナノ材料工学 工学博士	プラチナ社会に関する教育と他分野と連携した研究指導
藤井 康正	フジイ ヤスマサ	47	大学院工学系研究科 原子力国際専攻 教授	エネルギーシステム工学 工学博士	エネルギーシステム工学に関する教育と他分野と連携した研究指導
元橋 一之	モトハシ カズユキ	51	大学院工学系研究科 技術経営戦略専攻 教授	技術経営 博士(商学)	技術経営に関する教育と他分野と連携した研究指導
黒倉 壽	クロクラ ヒサシ	62	大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻 教授	国際水産開発学 博士(農学)	プログラム企画・運営委員会、生物生産(農業・水産業)と資源管理・環境保全・生活・経済の関わりについての教育と他分野と連携した研究指導
井上 真	イノウエ マコト	52	大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻 教授	国際森林環境学・資源ガバナンス論 農学博士	国際森林環境学・資源ガバナンスに関する教育と他分野と連携した研究指導
本間 正義	ホンマ マサヨシ	61	大学院農学生命科学研究科 農業・資源経済学専攻 教授	農業経済学 Ph. D.	農業開発経済学に関する教育と他分野と連携した研究指導
鮫島 正浩	サマガシ マサヒロ	59	大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 教授	林産学・バイオマス利用科学・森林生物化学	バイオマス利活用推進に関する教育と他分野と連携した研究指導
渡邊 俊樹	ワタナベ トシキ	62	大学院新領域創成科学研究科 メディカルゲノム専攻 教授	血液腫瘍学 医学博士	プログラム企画・運営委員会、橋渡し研究の実態と課題に関する教育と他分野と連携した研究指導
武藤 香織	ムトウ コリ	42	大学院新領域創成科学研究科 メディカルゲノム専攻 教授	社会学 博士(保健学)	先端医療開発に伴う倫理的・社会的課題に関する教育と他分野と連携した研究指導
渋谷 健司	シバヤ ケンジ	47	大学院医学系研究科 国際保健学専攻 教授	国際保健政策 MD, DrPH	俯瞰コースワーク設計、保健政策に関する教育と他分野と連携した研究指導
齊藤 延人	サイトウ ノブヒト	50	大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 教授	脳神経外科学 博士(医学)	東大病院における臨床あるいはTRの実践と政策研究との橋渡しの役割
小林 廉毅	コバヤシ ヤスキ	56	大学院医学系研究科 社会医学専攻 教授	公衆衛生学・医療政策 医学博士	プログラム企画・運営委員会、公衆衛生・医療政策に関する教育と他分野と連携した研究指導
坂井 修一	サカイ シュウイチ	54	大学院情報理工学系研究科 電子情報学専攻 教授	安全・安心情報システム学 工学博士	プログラム企画・運営委員会、安全・安心情報社会に関する教育と他分野と連携した研究指導
浅見 徹	アサミ トオル	61	大学院情報理工学系研究科 電子情報学専攻 教授	情報通信工学 博士(情報理工学)	社会インフラとしての情報ネットワークに関する教育と他分野と連携した研究指導
須藤 修	スドウ オサム	57	大学院情報学環学際情報学府 学際情報学専攻 教授	社会情報学・情報経済論 経済学博士	プログラム企画・運営委員会、電子政府(e-Government)に関する教育と他分野と連携した研究指導
越塚 登	コシヅカ ノボル	46	大学院情報学環学際情報学府 学際情報学専攻 教授	情報科学 博士(理学)	情報学に関する教育と他分野と連携した研究指導
石崎 雅人	イシザキ マサト	52	大学院情報学環学際情報学府 学際情報学専攻 教授	専門家社会におけるコミュニケーション Ph. D.	専門家コミュニケーションに関する教育と他分野と連携した研究指導
佐倉 統	サクラ オサム	52	大学院情報学環学際情報学府 学際情報学専攻 教授	科学技術社会論 博士(理学)	科学技術ガバナンスに関する教育と他分野と連携した研究指導
坂田 一郎	サカタ イロウ	46	政策ビジョン研究センター 教授	科学技術産業政策論 博士(工学)	プログラム企画運営委員会、産学官アフィリエート委員会、俯瞰コースワーク設計、科学技術産業政策に関する教育と他分野と連携した研究指導、国際機関のプロジェクトとの連携

(機関名:東京大学 申請類型:オールラウンド型 プログラム名称:社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム)

リーダーを養成するプログラムの概要、特色、優位性

(広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダー養成の観点から、本プログラムの概要、特色、優位性を記入してください。)

【プログラムの概要】現代社会においては、構造変化を伴う経済社会的ニーズ、複合的に作用するシステムリスク、世界的な環境のダイナミックな変容等を背景とした様々な社会的課題群が存在している。このため、潜在的なものも含め、そうした課題群を適切かつ早期に認識し、様々な専門的知見を組み合わせて解決策の選択肢を構築し、選択肢の中から社会的合意形成を図りながら実際に選択を行い、更に、グローバルな視点を持って、それを迅速に展開することが求められている。社会の超高齢化と社会保障制度の不安定化、大規模災害の頻発、地球環境の持続性への懸念、東アジアの政治情勢の不安定化は、そのような課題の要素の代表例である。今日、様々な組織及び局面において、こうした諸課題の認識から解決策の実装までの一連の流れをリードできる人材の必要性が高まっている。

本プログラムでは、高い倫理観のもとに、社会が直面するグローバルレベルや国レベルの課題を的確かつ早期に捉え、これに対して、多様な専門知識を統合し、社会的リソースを組織化して解決に導くことの出来るようなリーダー人材(近い将来、「世界や国のドライバースシート」を託せる高度博士人材)を養成することを目的とする。このような課題解決には、文理横断的なイノベーションが不可欠である。公共政策は社会科学に閉じた課題ではなく、理系との幅広い連携の下に、先端的な科学技術の理解を踏まえて検討されるべき課題である。また、イノベーションを創出・実装することによって産業界から社会を牽引することのできる人材も、このような人材の重要な部分である。

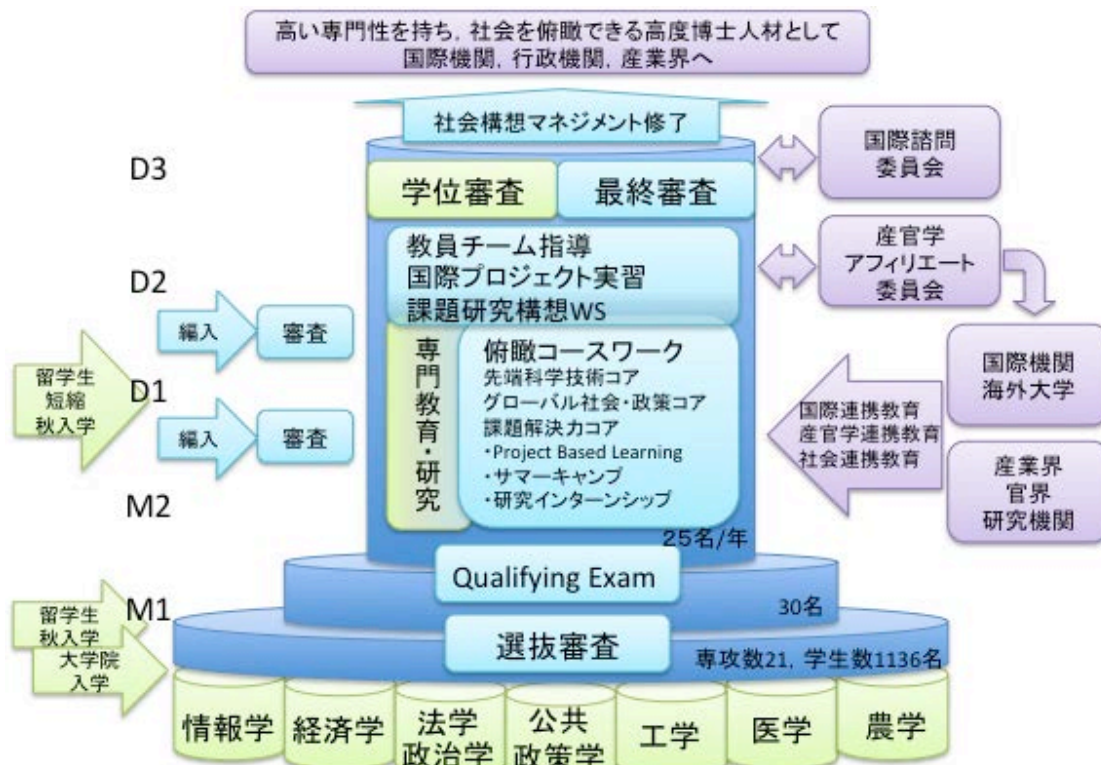
【プログラムの特色】上記の人材を育成するため、本プログラムでは、課題を発見し解決する力、幅広い教養と高い倫理観、競争を勝ち抜く強い意志、社会や市場ニーズを感じ取る知性と研ぎ澄まされた感性、自ら学ぼうとする強い意志と旺盛な好奇心、訓練された高いコミュニケーション能力は高度博士人材として当然ながら涵養し、拠り所となる尖った専門知識を一つ以上持つことに加え、さらに、(1)水平展開力基盤(文理双方の確固とした知識基盤)、(2)設計力(アジェンダセッティングやコンセプト設計能力)、(3)グローバル思考と公共精神に裏打ちされた行動力(課題解決実行をマネジメントできるプロジェクトマネジメント能力、国際舞台で活躍できるグローバル性、訓練されたコミュニケーション能力、人間力を持って多様な人材を率いるリーダーシップ)の3要素を備えた人材を育成する。この目的を達成するため、本プログラムは、本人の選択により専門分野の知識基盤を一つ以上しっかりと身に付けさせつつ、横断的知識の統合、統合された知識に基づく社会システム設計、グローバルな場における課題解決の実践等の能力を養う機会を重視したものとする。本プログラムには、分野横断的な政策・戦略にという切り口の下で、多くのルートで適性を持ったトップレベル人材を、年齢、バックグラウンド等を問わず世界中から発掘し入学させる。いわば「人材のるつぼ」の環境下で、先に挙げたような能力形成を行っていくのが本プログラムの特色である。このようなプログラムを通して、国家運営上重要な政策立案をリードできる人材、国益を代表して世界の舞台で厳しい交渉を担う人材、国際機関や民間シンクタンクの幹部として世界的な議論をリードできる人材、多国籍の大型プロジェクトをリードし産業界を活性化することのできる企業人材を養成する。

以上のようなプログラムを実効的なものとするために、その基盤として、博士の学位を授与するに足る、部局を超えた強い文理横断的連携組織を構築する。この連携組織を中核に、関係部局が持つ海外の大学、国際機関とのネットワークも集約する。また、教育プログラムについては、俯瞰的コースワーク(先端科学技術コア、グローバル社会・政策コア、課題解決力コア)、課題研究構想ワークショップ、国際プロジェクト実習への参加、チーム型指導体制による博士論文執筆から構成される。最終的には、博士学位論文審査と最終審査が行われることになる。また、学生が本教育プログラムと研究に集中できるように、特別な奨学金を導入する。

【プログラムの優位性】東京大学では部局を横断した教育実績として、これまで、「部局横断型教育プログラム」(科学技術イノベーション政策の科学、ジェロントロジー、海洋学際教育等)を実施している。また、分野横断、課題解決型の研究を、政策ビジョン研究センター、知の構造化センター等の全学的機構を設置する等して推進してきており、教員が仕組みや知見・ノウハウを有している。公共性の高い課題解決に関するグローバルなリーダー人材の育成に関しては、東京大学では、これまでも多数の国家公務員をはじめ社会において公共政策の形成や実施に携わる人材を輩出してきた(法経工、および公共政策大学院だけで、2010年87名、2011年70名が国家公務員として就職)。さらに、公共政策大学院では、修士レベルでダブル・ディグリー制度や英語のみによる修了が可能な国際プログラムコースを設置して、将来の各国のリーダーとなりうる人材を育成してきた。また、東京大学は、これまでに21COEに続き17件のGCOEと他大学連携して4件のGCOEを実施してきており、大学院博士課程の教育改革に実績を有する。本プログラムは、このような東京大学における様々な実績を結集して行われる点で、高い実行可能性を有する。また、公共政策大学院や工学系研究科等における実績を基礎に主として英語でプログラムを提供する点でも優位性がある。

学位プログラムの概念図

(優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとして養成する観点から、コースワークや研究室ローテーションなどから研究指導、学位授与に至るプロセスや、産学官等の連携による実践性、国際性ある研究訓練やキャリアパス支援、国内外の優秀な学生を獲得し切磋琢磨させる仕組み、質保証システムなどについて、学位プログラムの全体像と特徴が分かるようにイメージ図を書いてください。なお、共同実施機関及び連携先機関があるものについては、それらも含めて記入してください。)

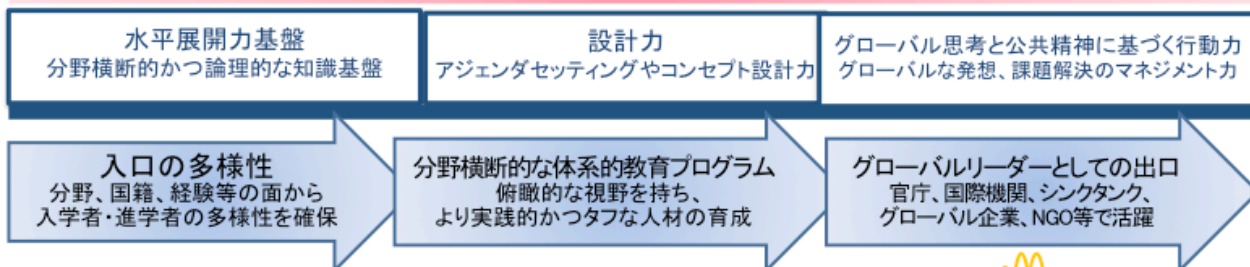


「社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム」

目標

世界や国のドライバーズシートを託せる人材を東京大学から輩出

多様な専門知識を統合し、社会的リソースを組織化して社会が直面するグローバルレベルの課題を解決に導くことのできるリーダー人材の養成



養成プログラムの特徴－組織とテーマ例

学内各部局の連携による教育プログラム

- ・学内連携各部局から、本プログラムの履修生を選抜し、5年一貫教育を行う。
- ・学内連携各部局のネットワークによる協体制の下、公共政策大学院の中に博士課程を新設し、それを連携のハブとする。

分野横断的な体系的教育による人材の育成

- ・教員チームによる指導→国際プロジェクト実習を踏まえ、多様な課題を解決する水平展開力修得。
- ・国際プロジェクト実習→専門性ととも社会課題を踏まえて研究を構想・設計・交渉・発信力修得。
- ・分野俯瞰型コースワーク→先端科学技術、社会・政策に対する俯瞰的な理解、異分野間協力を伴う実践的課題解決力修得。

多段階による学位の質の確保

- ・前期課程入学後に選抜審査を実施する。
- ・前期課程1年目終了までに、Qualifying Examを行う。
- ・後期課程では最終審査と博士論文審査を実施する。

課題解決テーマ例

- ・エネルギー安全保障と温暖化対策を見据えたエネルギー技術政策
- ・個別化医療や再生医療等の実用化を可能にする総合的な社会システム
- ・世界的金融リスク等複合リスクを効果的に管理するシステム
- ・安全保障や海洋資源管理における宇宙の利用、サイバーセキュリティの確保など

機 関 名	東京大学
プログラム名称	社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム
<p data-bbox="185 315 336 344">[採択理由]</p> <p data-bbox="185 367 1430 685">本プログラムは、健康・医療と貿易規制、先進エネルギーと安全保障、航空宇宙と国際競争力、市民生活・社会活動のレジリエンスという文理融合型の研究テーマを明確にした上で、俯瞰コースワーク、課題研究構想ワークショップ、国際プロジェクト実習参加を通じて、社会問題解決に向けた新しい人材ニーズに応えるものであり、計画が具体的である。国や国際社会、産業界の課題を解決するために、革新的科学技術と革新的公共政策を結びつけた社会構想マネジメントを教育する点で、オールラウンド型にふさわしい文理融合型プログラムとして評価したい。本プログラム実施の場を大学が提供するなど大学の支援体制が期待できる。</p> <p data-bbox="185 696 1430 931">英語を本プログラムにおける主要言語と位置づけ、海外招聘者を交えた合宿などによる英語力強化が組み込まれている。国際プロジェクト実習については、多くの関連国際機関や海外大学との間に従来 of 教育研究協力の実績があることから、成果をあげることが期待される。本プログラム修了後のキャリアパスについては、政府組織、国際機関、民間企業を想定しており、民間企業へ進む者が少なくならないよう配慮できれば、当初の目的を達成することが期待される。</p> <p data-bbox="185 943 1430 1133">理系文系共に優れた教育研究業績と資源を有し国際的にも高い評価を得ており、数多くの留学生を受け入れている。プログラム担当者に実務経験や国際経験が豊富な教員が多く、国際連携についての実現性が高い。大学院教育研究についても、これまでに 28 件の 21 世紀 COE プログラムや 17 件のグローバル COE プログラムなど、多くの実績をあげており、本プログラムを遂行するために必要な教育研究基盤が備わっている。</p>	